本年度第一回 屋久島研究講座 開講報告

本年度第一回目の屋久島研究講座は、京都大学の研究チームの先生方と共同での開催となりました。

「長い「鼻」のゾウムシとリンゴツバキの共進化」

産業技術総合研究所、東樹宏和先生は、屋久島のリンゴツバキの実が大きくなった理由として、その種子を食べてしまうゾウムシとリンゴツバキの間で繰り広げられる攻防戦（共進化）によってであるとして、二者の関係について話して下さいました。

ツバキシギゾウムシ

「ふしぎな毒きのこの世界」

滋賀大学名誉教授の横山和正先生は、菌類の中でも進化した高等菌類（いわゆるきのこ類）の分類や生態の研究を行っており、菌類の自然界における役割や食用きのこ、毒きのこ、屋久島で見られる代表的なきのこなどを紹介してくださいました。

横山和正先生

受講者からは、「非常に分かり易かった。今後も一般に分かり易い様留意してほしい。」「身近な事なのにまだ知らない事がまだたくさんある。今後の講座も期待したい。」などのご意見をいただきました。次回は、サンゴとサンゴ礁について」を計画しています。

JATA世界旅行博2008

世界旅行博は，「国際観光会議」と「展示会」で構成され，2003年から毎年開催されています。
「国際観光会議」は，一つのテーマについて議論を展開するマーケティング会議。
「展示会」は，業界関係者との商談情報交換の場となる業界招待日と，一般消費者を対象に商品・サービスをアピールする一般開放日とで構成された旅行見本市・展覧会です。

東京ビッグサイト会場

9月19日から3日間の日程で開催された今年の世界旅行博は世界134の国と地域が参加し，延べ10万人を超える来場がありました。
屋久島のコーナーにも多くの方が集まり，説明に熱心に聞き入る方や，パンフレットなどを持ち帰り今後の旅行の参考にされる方などもいました。「一度は訪れたい」，「以前に訪れた」という声を度々耳にし，世界自自然遺産屋久島の人気を再確認した旅行博でした。

財団職員がそれぞれの想う「屋久島」について語るコーナー
連載【屋久島を想う】㊸

文化村センター勤務 田邉　修一

私は，アレルギー性鼻炎で悩まされてきた。
「減感差療法」（スギ花粉を薄めた注射をして，体を慣らしていく療法）や鼻粘膜の「レーザー治療」も体験してきた。
屋久島に転勤になって，心配した鼻水は全く出ない。薬を飲む必要もない。空気が綺麗なんだと改めて実感している。澄んだ空気，水は山が造りだしてくれたものだ。中国の大気汚染が日本の山々に影響を与えているという。福岡では光化学スモッグが心配されている。
屋久島は大丈夫だろうか。入島者は年間４０万人を超える勢いだ。多すぎる登山客が山に負荷を与えている。
縄文杉のデッキで焦げが見つかり，デッキ周辺でティッシュが散乱しているという悲しい話も聞こえてくる。山を守るために，これまで以上の規制が必要な時期に来ているのではないだろうか。

屋久島環境文化両施設 休館・イベント お知らせ

村センター・研修センター

休館日
10月 6･14･20･27日 ／11月 4･10･17･25日

☆☆イベント☆☆
星空観察会・・１１月７日（八幡小学校）
自然に親しむ集い・・１１月３０日
（太鼓岩周辺観察の予定）

まるりんのはひふへホットタイム

ビデオ片手に運動会の応援。
応援に夢中になるあまり地面が映るのもしばしば。誰かプロの方撮ってくれませんか？　（C級♂）

冬支度にお忙しいアリ様
キンチョールを持って追っかけ回すのも無駄な抵抗だと諦めました。
だからお願い！寝てる私を噛まないで！
カイ～のよ。
（ガリベったい）